

# すみよし

## 第72号

発行所 社会福祉法人 一 寿 会  
 仙台市泉区住吉台西二丁目7番地6  
 電話 022-379-8030  
 発行者 理事長 金野孝彦

- 住吉台こども園  
 仙台市泉区住吉台西二丁目7番地6 TEL(022)379-0164
- 仙萩苑 (障害者支援施設)  
 仙台市泉区住吉台西二丁目7番地6 TEL(022)379-8030
- 一寿園 (就労継続支援B型事業)  
 仙台市太白区富田字南ノ西26番地 TEL(022)243-3447
- 長命ヶ丘つくしこども園  
 仙台市泉区長命ヶ丘三丁目20番10 TEL(022)772-0035
- 名取みたぞのこども園  
 名取市美田園五丁目3番地5 TEL(022)784-1020
- 名取あけぼのこども園  
 名取市増田六丁目1番40号 TEL(022)382-2711

印刷 令和8年2月25日  
 発行 令和8年2月27日



### ■ みたぞのこども園 (p4~p5)

#### ■ 住吉台こども園 (p2~p3)

- ・ピザトースト作り
- ・炊き出し訓練
- ・ハッピーデー「雪だるま制作」



#### ■ 長命ヶ丘つくしこども園

(p3~p4)

- ・三歳児親子遠足
- ・もちつき会・鏡もち作り



#### ■ 名取みたぞのこども園

(p4~p5)

- ・野菜の収穫
- ・運動会



#### ■ 名取あけぼのこども園

(p5~p6)

- ・クリスマス制作
- ・運動遊び
- ・クリスマス誕生会



#### ■ 仙萩苑

(p7)

- ・賀寿の会
- ・忘年会



#### ■ 一寿園

(p8)

- ・避難訓練
- ・支援学校見学



# 住吉台っども園

## ピザトースト作り

九月二十五日、三歳以上児クラス対象のピザトースト作りを行いました。今回のピザトーストは夏野菜のピーマン、なす、トマトを取り入れて作りました。同時期に畑活動にも取り組んでいた為、収穫できた野菜もトッピングで使用することができました。はじめに、栄養士から子どもたちへ「ピザにはどんな食べ物がのっているかな？」と質問をしました。子どもたちからは元気な声で、沢山の野菜の名前と「チーズ」「ケチャップ！」と声飛び交い、ピザ作りを楽しみにしている様子が見られました。子どもたちには、トマトソース作り、玉ねぎの皮剥き、ピーマンの種取り、包丁で切る活動に取り組んでもらいました。トマトを揉み、トマトソースを作るくま組は「冷たい」「硬いのなくなったよ」といった友だちとの会話を楽しみ活動に取り組んでいました。玉ねぎの皮剥きとピーマンの種取りを担当したぞう組は、玉ねぎの皮を剥いては「涙出ないね」「どこまでむけばいいの?」「バラバラになっちゃった」の声が聞こえてきました。ピーマンの種を数えて友だちと楽しむ姿も見られました。包丁活動に取り組んだきりん組は、丁寧に集中して切ることができていました。仕上げのトッピングの時間では、山盛りに食材をのせる子や、野菜を使って上手に顔を作る子、一人ひとりトッピングの時間を楽しんでいました。完成した自分のピザを見て、食欲が増し勢いよくかぶりついている子が多く見られました。自分が作った特別なピザトーストに喜び、美味しい匂いと「おいしい」の声がクラス中に飛び交っていました。



(栄養士 鹿野 桃花)

## 炊き出し訓練



十月三十一日に炊き出し訓練を行いました。住吉台こども園では年に一度子どもたちが災害時の食事を経験すること、職員が災害時の食事提供に対する配慮や行動を確認すること、そして地域の輪を広げることを目的に炊き出し訓練を行っています。食事提供の部分では、五徳を使って豚汁を作っていました。三歳以上児クラスの子どもたちにも包丁で野菜を切ってもらったり、こんにゃくやきのこをちぎってもらったりして参加してもらいました。においや感触を確かめながら、友だちと一緒に楽しんで取り組んでいます。その後は、お鍋で煮ている間に参加してくれた地域の方々へのお楽しみタイム♪三歳以上児クラスの子どもたちが運動会で踊ったダンスと、五歳児クラスの子どもたちがバルーンを披露



してくれました。地域の方たちが見てくれるのが嬉しい様子で、とってもニコニしながら披露してくれていました。地域の方々に出し物をしている間にご飯が炊き上がり、子どもたちと地域の方々におにぎり作りをしてもらいました。わかめ、ゆかりの二種類から好きな味を選んでラップで握り、子どもたちはできあがると満面の笑みを浮かべていました。最後は、ブルーシート敷いて、園庭で自分たちで作ったおにぎりや豚汁を食べました。災害時はテールなどを使わずに食事をすることも予想されるので訓練の一つになります。子どもたちは、「おいしいね」などとお友だちとお話をしながら楽しく食事をしていました。災害が起こると日常が一変しますので、一回一回の避難訓練の取り組みを大事にしていき、災害に備えていきたいと思えます。

(保育教諭 鳥田 佳澄)



# ハッピーデー 「雪だるま制作」

十二月十八日の三歳未満児ハッピーデーでは、雪だるま制作を行いました。ホールに子どもたちが集まり、元気なご挨拶から活動が始まりました。先生の説明を、目を輝かせながら聞いている子どもたち。「雪だるま作ったことある!」「ビリビリしたことあるよ」等と周りの保育教諭や友だちと笑顔でやり取りをする姿も見られ、制作を楽しみに待つ姿が見られていました。制作では、0歳児は花紙で帽子作り、一歳児は白い画用紙で顔作り、二歳児は体作りを担当して作りました。保育教諭が側に付き「ビリビリして、貼って



みよう」等と見本を見せながら関わってきたことで、子どもたちはその姿を真似しながら、楽しんで取り組んでいました。「ビリビリできたよ!」とキラキラした表情で見せに来てくれる子どもや「ちょっと難しいな」と真剣な表情の子どもの姿も見られました。制作を待っている子どもたちは、異年齢児との交流を楽しみながら、おままだとや井型ブロックで遊びながら、順番を待っていました。最後は、完成した雪だるまを見て、とても嬉しそうに拍手をする子どもたち。保育室に戻った後も、楽しそうに感想を言い合いながら過ごしていました。

(保育教諭 野澤<sup>のざわ</sup> 佳乃子<sup>かのこ</sup>)

# 長命ヶ丘つくしこども園

## 二三歳児親子遠足



十一月七日に親子遠足で八木山動物公園に行ってきました。親子遠足があることを伝えた時から「どこにいくの?」「お家の人と一緒に行くの?」と当日を心待ちにしていました。初めての親子遠足だった為、バスの中での過ごし方や園外での約束事を事前にみんなて話し合い、楽しい遠足となるようにしていました。当日は約束を守り、お家の人と手を繋いでバスへ向かい、大型バスに喜んで乗り込みました。行きのバスでは動物のシルエットクイズでお家の人と会話を楽しみながら盛り上がりました。「まだかな?」「もう着いた?」とそわそわしている間に到着しました。到着後は、みんなで色々な動物を見ながら集会場所まで向かい、その後お家の人と自由に園内見学を楽しみました。「ぞうさん見たい!」とお家の人と話しながら、自分が見たい動物の所へ速足で向かっています。羊や山羊との触れ合い体験を通して、身近な動物との触れ合いに喜ぶ姿が沢山見られました。園内見学を満喫

した後はお弁当の時間です。みんな「いただきます」の挨拶をした後にお弁当を開けた瞬間の子どもの表情は笑顔で溢れ「先生、見てみて!」とお弁当を見せてくれました。お家の人が愛情をたっぷり込めて作ってくれたお弁当を最後まで「美味しい!」と喜んで食べ、満足気な子どもたちでした。昼食後も園内見学をし「もう一回見たい!」と動物を見に行き、最後まで楽しんでいました。帰りのバスの中では「楽しかったね!」と遠足を振り返ったりお昼寝をしたり、ゆったりと過ごしながら園へ帰りました。遠足後もクラス内では動物園の話で盛り上がり、余韻を楽しんでいた子どもたちでした。

(保育教諭 佐々木<sup>ささき</sup> 郁美<sup>いくみ</sup>)



### もちつき会・鏡もち作り

十二月二十三日、全園児がホールに集まりもちつき会が行われました。栄養士から鏡もちの由来や飾る理由、上の餅が「太陽」下の餅が「月」と呼ばれていること等を聞いた後、三・四・五歳児の子どもたちが炊き立てのもち米を一口ずつ味見しました。いつもの白米と違った食感に「もちもちで甘いね」と嬉しそうなお子もたちでした。栄養士が蒸したもち米を石臼に入れてすりつぶし、米がくっつき始めるのを見せてもらいました。年長児が杵を持って石臼の前に立つと「重い」「お餅がくっついてる」と感想を言い「よしよ」と言う掛け声に合わせて順番に餅をつきました。ホールに集まって



いた他のクラスの友だちからも応援の声が聞こえてきました。子どもたちの後は、先生たちが力を込めて餅をつきました。「先生頑張れ」と声が上ががり、徐々にもち米の粒が無くなって、持ち上げると伸びる様子に子どもたちも大盛り上がりでした。ついたお餅を片栗粉をまぶしたテブールの上に置くと、太陽チームと月チームに分かれた年長児が捏ねて丸めました。手に片栗粉を付けてお餅を触ると「柔らかい」「ぶにぶにしている」「美味しそう」と嬉しそうに捏ねていました。もちつき会を通して伝統行事に触れ、良い経験ができた一日となりました。子どもたちが作った鏡餅は新年も大きな怪我なく健康に過ごせるようにと願いを込め、玄関と三・四・五歳児のクラスに飾りました。  
(保育教諭 坂本 実優)

### 名取みだのこども園

### 野菜の収穫



六月から暑い日が続く、野菜が著しく生長した為、朝の戸外遊びの時間を通して、大きくなった野菜から収穫を行いました。自分たちで苗を植え、日々水やりをし、生長していく過程を見て「きゅうり大きくなっているよ」「また増えたね」等、嬉しそうにやりとりする姿が見受けられました。まずは保育教諭が収穫した、なすやきゅうり、ピーマンを見せると「美味しそう」「僕も採りたい」と興味津々な様子でした。収穫では、自分たちで切ってみようと力いっぱい頑張っていました。茎が硬い為、保育教諭と一緒にさみを使って行いました。収穫後、採れた野



菜を見比べて「なすの形が違うね」「このきゅうりが一番大きいね」等、形や大きさの違いを共有する姿があり、微笑ましかったです。後日、自分たちで収穫したピーマンで塩昆布和えを作る食育活動を行いました。自分たちで作った喜びから、普段は苦手で食べられなかった野菜も、少しは食べてみようという「美味しかった」と笑顔で食べたりする姿が見受けられ、食育活動の大切さを改めて感じられました。

(保育教諭 山田 歩未)

# 運 動 会



十月十八日、園庭で運動会が行われました。今年度は、二〜五歳児クラスで競技を行いました。オープニングでは、五歳児クラスが音楽に合わせてながらフラッグとパラバルーンの二種目を披露してくれました。競技中、技が綺麗に決まると歓声や拍手が沸き起り、子どもたちは達成感に満ち溢れた表情を見せてくれました。次に行われた二歳児クラスのかけっこ親子競技では、トラック半周を一人で走ったり、お家の人と手を繋いでハードルや巧技台を飛び越えたりし、楽しく体を動かしました。三〜五歳児クラスの障害物では、一本橋を渡ったり、鉄棒や跳び箱で出来るようになった技や段数に挑戦したりし、日々練習してきたことを、自信を持って披露する姿が見られました。その後は三、四歳児クラスのかっこ、五歳児クラスのリレーを行いました。リレーでは、両チームの差が開いてしまう場面もありましたが、一人一人が最後まで諦めることなく走り切り、なんと驚きの両チーム同時ゴール。沢山の人から声援を貰いながら一生懸命頑張ったことは、子どもたちの自信



や思い出になったと思います。  
 (保育教諭 武藤 萌)

# 名取あけぼのこども園

## クリスマス制作



十一月二十一日に二歳児クラス・うさぎ組でクリスマス制作をしました。始めに絵本の「いろいろなクリスマスマツリー」の読み聞かせをするとクリスマスについて知り、制作を楽しみにする子どもたちの姿がありました。最初にサンタとトナカイにシールで顔のパーツを貼りました。小さなシールも指先を使って上手に取って貼ることができるようになっていて成長を感じました。次にクリスマスツリーを折り紙で作りました。初めて折り紙の一回折りを自分で折り、できたことを嬉しそうにする姿が見られました。靴下の部分にはコットンボールを使って絵の具でスタンプをしました。一人一人の個性が出ていて一ヶ所に集中してスタンプをする姿や、全体的にスタンプをする姿があり、様々な模様の靴下が完成しました。サンタさんからどんなプレゼントが欲しいか考える姿もとてもかわいらしかったです。今後も季節の行事に触れながら行事について知り、季節



に合った色々な制作活動が出来るようにしていきたいと思えます。  
 (保育教諭 庄司 琉奈)

# 運動遊び



十二月九日に一歳児クラス・りす組がホールにて運動遊びを行いました。ロッククライミングがついたエアマットを見ると「早くやりたい」と楽しみをする姿が見られました。最初は登り方が分からず出来なかった子も保育教諭の援助や登ることが出来る友だちの姿を見たことで登れるようになり、手足を力いっぱい使って登る姿が見られました。またマット山では、てっぺん

からジャンプしたり、マットの上を友だちと一緒にゴロゴロ転がってみたりと楽しそうな笑い声が沢山聞こえてきました。遊びの中で子どもたち同士で「順番だよ」などと遊ぶ前の約束を思い出し声を掛けたり「一緒にやろう」「楽しいね」とやり取りをしたりする姿があり、日々増えていくやり取りの数に成長を感じることが出来ました。今後も運動遊びを多く取り入れ、様々な動きを体験しながら遊びを楽しめるようにしていきたいと思えます。

(保育教諭 岩瀬 いわせ 綾奈 あやな)



# クリスマス誕生会



十二月二十五日、ホールでクリスマス誕生会が行われました。誕生児六名はステージに上がると一人ずつインタビューでサンタさんをお願いしているプレゼントを聞かれ、期待の表情でもちややゲームの名前を答えています。仲良しのお友だちから誕生カードと歌のプレゼントをもらうととっても嬉しそうでした。お楽しみは五歳児クラスの子どもたちが好きなことや得意なことを披露してくれました。見ている子どもたちも合奏や合唱、ダンスに合わせて歌ったり踊ったりして楽しんで

していました。会終了後には、一歳児は保育室で一緒に給食を食べ、二〜五歳児はホールで会食を行いました。テーブルに飾ってある松ぼっくりで出来たクリスマスツリーの飾りや、三歳以上児が折り紙で折ったネームプレートを見て「かわいいね」「きれいだね」と喜ぶ姿がありました。給食が出てくると、子どもたちの大好きなメニューが沢山あり「美味しいね」「おかわりしたい。」といつも以上に夢中になって食べる姿が見られました。お友だちみんなと一緒に食べる特別メニューに大満足の子どもたちでした。

(保育教諭 榛澤 はんざわ 静夏 しずか)



# 仙萩苑

## 賀寿の会



九月十四日、賀寿の会が開催されました。今年は、六名の祝い歳の方がおられました。お祝いちゃんちゃんこの衣装を身に着け、各年齢のバルーンを持って拍手の中登場。男女一名ずつ代表の方から一言いただきました。その後はサプライズとして御家族や担当職員からの手紙を朗読。感動して涙を流す方もいらっしゃいました。記念品は、感謝状毛布。寒くなるこれからの時期暖かくして過ごしてもらおう為、行事担当が考え抜いた一品です。お楽しみのお食事は、お寿司や茶碗蒸し、デザートと豪華な献立で、皆さん美味しそうに召し上がっていました。今回は、他の部署（事務所・透析室）にも協力を依頼し、祝い歳の方へのメッセージを書いて頂き、壁面飾りを作成しました。今も写真を共に飾っているのですが、来苑された際には是非ご覧になって下さい。最後に、祝い歳を迎えられた皆さん、おめでとうございます。これからも元氣にお過ごし下さいね。

(生活支援員 内嶋 寿子)



# 忘年会



十二月二十一日、仙萩苑では忘年会が開催されました。二階食堂を会場とし、クリスマスが近いこともありキラキラとした装飾が明るい雰囲気を出しました。利用者の皆さんには一年を振り返っていただき、楽しかったこと、思い出に残ったことを書き出していただき会場に展示しました。入り口近くにはフォトスポットを用意し利用者さんにはクリスマスコスプレをしていただき写真撮影をしました。職員の余興では二人羽織を披露しました。派手目のお化粧をし、熱々おでんを美味しくいただきました。テレビで見るとような光景に皆さんに笑っていただきました。食事はベーコンライス、フライドチキン、ポテト、クリスマスツリーサラダ、三種のケーキでした。とても喜んで召し上がっていました。一年を締め括るとても有意義な時間を過ごすことができました。来年も皆様と楽しく過ごせる様に今後も支援に取り組んで参ります。

(生活支援員 菅野 禅治)



# 一 寿 園

## 避難訓練



十二月二十日、比較的暖かい日に避難訓練を実施しました。はじまりの合図として非常ベルを鳴らすのですが、毎回非常ベルを鳴らす係は利用者さんをお願いしています。初めてスイッチを押す時は、皆さん緊張した面持ちです。訓練が開始され、一階駐車場へ移動。今回も無事避難ができました。訓練終了後、初めてのベル押しのご感想を聞くと「強く押さないと鳴らなかった。うるさかったけど大きな声は出さずに頑張りました。」と語ってくれました。年齢関係なく、利用者さんには色々な体験をしてもらっています。いざという時は、それぞれ判断して行動できるように慣れていってもらえると良いですね。回を重ねる度に皆さん慣れてきているように感じました。次回もよろしくをお願いします。

(職業指導員 渡辺 寿子)



## 支援学校見学



十一月十四日と二十一日に、秋保かやき支援学校へ職員のみで見学に行きました。場所は秋保温泉街を抜けた先、以前拓桃医療療育センターがあった跡地になります。自然豊かな場所なので、伺った時期は近所でクマ出没があった直後でした。

令和六年に完成したばかりの校舎は、まだ新しい匂いがして生徒のことを考えたバリアフリーの造りになっていました。特別支援学校の小学部から高等部が同じ校舎で学び、高等部産業技術科は全寮制となっており、寄宿舎で生活をしていました。この産業技術科が特別で、地域に根差して働けるように、接客・清掃・食品・介護等を学べる仕組みが沢山ありました。実際ホテル等で働くことを想定し、清掃やベッドメイキングを体験して学べるように、ホテルの客室をイメージした実習室が作られていたのには驚きました。和室・洋室、バスstubまであり、本当のホテルにいるかのようでした。他にはカフェも隣設されており、一般の方も利用できるということで、実際に利用させていただきました。実際、

## 編集後記

皆さんはChatGPTを使ったことはありますか？AIは難しそうという声もありますが、やってみると意外と簡単です。例えば、画像をアップして指示や質問をするだけで、誰でも簡単に楽しい世界が広がります。私も使ってみました。ペットの写真を加工して、可愛いオリジナルグッズを作ったり、家にある食材を入力するだけでAIがオリジナルレシピを生成してくれます。あくまでも個人での使用や、ご自身のSNSでのシェアに限りますのでそこは厳守し、正しく楽しい活用をしていきましょう。

(職業指導員 渡辺 寿子)

生徒たちが業務を担当していて、盛り付けや接客の実践的な学習ができるようになっていました。生徒さんの丁寧で初々しい接客に、自然と笑顔になってしまいました。「秋保プレート」という、レストランHACHIのハンチをいただきましたが、とても美味しかったです。

支援学校の生徒さんたちが教育の中で自分の可能性に気づき、自立していく姿を応援したいと思います。